

県立学校新任生徒指導主事研修を実施しました。

令和2年6月5日（金）に「県立学校新任生徒指導主事研修」を実施しました。6月2日（火）に実施した「県立学校新任進路指導主事研修」に続く、職務研修の第2弾です。



午前中は、高等学校教育課の竹内賢一指導主事から講話「生徒指導を取り巻く今日的課題について」、県立豊田西高等学校の小瀧雄一郎校長からは講義「生徒指導主事の役割」をいただきました。新型コロナウイルス感染防止のため、受講者を2会場に分け、中継システムでつなぐ形での実施となりました。



午後は、「全日制普通科」、「全日制専門学科・総合学科」、「定時制及び通信制」、「特別支援学校」の4班に分かれて、各校における生徒指導上の問題とその解決のための取組について、研究協議を行いました。



研修を通じて、生徒指導上の今日的課題や生徒指導主事の役割についての理解を深めることができました。

【受講者の声】

- 生徒指導主事ということで肩に力が入っていましたが、「調整役」という言葉を聞いて、楽になり、色々悩んでいたことを柔軟に考えることができました。
- 具体的な対応事例を数多く教えていただき、自分自身の対応時の引き出しが増えました。



- 未来を生き抜く力を生徒につけられるよう、他の先生方の協力を得てやっていこうと思います。先生の話し方、声がとても心にひびきました。
- 校長先生の体験談をたくさん聞かせていただけて感動しました。涙が出そうになる部分もありました。「一生教師」に恥じぬよう、全力で指導にあたっていきたいと思いました。



- 他校の様子、指導方針などを知り、議論することで、多面的に物事を見て判断できるきっかけになったと思います。
- 各校の先生方と情報を交換することができた。同じような課題をもつ仲間ができて、心強く思えた。